

江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和 6 年 5 月 11 日（金）10 時～12 時
開催場所		和木地域コミュニティ交流センター
出席議員		6 名
参加市民数		1 6 名
実施 内容 報 告	議会報告	1 部・・・自己紹介（2 分）、委員会の概略（2 分）、総務文教（5 分）、建設厚生（4 分）、予算・決算特別委員会（6 分）の説明・・・計 20 分
	意見交換	50 分 （1）地域医療 ・済生会が縮小してきている。 ・医師不足 ・小児科、耳鼻科、皮膚科が無い・・・町医者がいない。 ⇒対策として・・・魅力あるまちづくりに取り組み、若い人を増やす、巻き込む。 ・脳ドック 75 歳以上だが受けたい ・江津出身の医者知りたい （2）海岸浸食の対策 （3）まちづくりの市民参加 ・地域で特定の人のみ参加している状況がある ・子ども会の様子も変わってきた。保護者の意識が変わってきたと感じる ・PTA 活動も含め、運営側にかかわることで地域参加につながると思う ・子どもがあいさつをしない場合がある ・昔と比べて、子どもがどの子どもかわからない ・地域参加とあいさつは関係している ・ロシア祭り、企画に参加してもらえない。（手伝いは OK といわれる。企画から参加してもらうよう工夫しないと主体性がなくなったかも） ・まちづくり協議会になってから、活動が部会になり、主体性が無くなった部分もあるかも知れない ・自治会と協議会とで役割があいまい （4）DX について ・スマートシティ、DX、分かりにくい。時代についていくのが大変 ・市役所は案内が丁寧になったと感じる。入口に入ると、丁寧に案内してもらってよかった。 ・マイナンバー保険証に変えて、毎月病院に保険証を出さなくてよくなった。 ・高齢者はマイナンバー保険証にとまどいがある （5）和木コミセンについて ・建て替えをお願いしたい。市内でも 2 番目くらいに古い建物だったと思う。

		・和木保育園跡地を使うよう要望している (6) その他 ・空き家について、総合計画とりまとめのため東京からコンサルの方が来たが、現地のことがあまり理解できていないように感じた
要望・意見等	(意見交換に含む)	
その他 特記事項	なし	

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長

森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和6年5月11日10:00～11:30
開催場所		川戸地域コミュニティ（桜江総合センター研修室）
出席議員		石橋孝義 森川佳英 坂手洋介 森元健二
参加市民数		9名
実施内容報告	議会報告	総務民生委員会・建設経済委員会・予算決算委員会報告
	議会報告に対する質疑応答	・昨年度川戸地区連合自治会より市長への要望書を提出したが、その中でも ①川戸橋の高さが堤防より低く、越水すれば川戸堤防の内側は浸水する。対策を講じてほしい。 ②地区内に2か所の陸閘門があり三江線廃止後には閉門しているが、経年劣化により漏水の可能性もあることから、対策を講じてほしい。 ・江津高校、江津工業高校廃止、新設校の開設が決まったが、市として方向性・考えはあるか。 ・上記の新設校解説に伴い、現在の江津高校校舎の跡地利用についての考えは。 ・若者世代の流出により、小中学校の生徒が激減している。定住のための住居建設の予定は。以前川戸駅裏に集合住宅建設計画という話があったがその後どうなったか。現在川戸地区の空き家バンク登録は2件。 ・検診や脳ドッグなどの広報をしっかりとやってほしい。 ・地域医療に関して、地域のつながりで助け合いができる仕組みづくりを。 ・地区避難所の侵入経路が救急車が入れないほどの狭さ。 ・市県道の白線が消えているところが多い。 ・県の施設で雑草等の放置が見られる。市で活用できるところはしたほうがよいのでは。 ・議員の政務活動費について、市民に還元できる活動に使うなど適切な使用を。 ・議員定数について、減らしてもよいのでは。 ・地域医療についていりょうのたらいまわしが起きている。医療の充実を ・まめねっとの活用でスピーディな対応ができるのでは。 ・三江線線路跡地の整備を地元住民が担っているが、高齢化等で難しくなっている。新たな管理体制の検討を。 ・地区の半分が空き家になっているところがある。対策を。 ・人口減少対策として外国人の登用を。それに対する経済支援も。
	意見交換	
	要望・意見等	（意見交換に含む）
その他特記事項		なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		
開催場所		浅利、跡市、嘉久志、川越、長谷各地域コミュニティ交流センター
出席議員		3班 植田好雄、森脇悦朗、渡辺信明 下谷忠広
参加市民数		
実施 内容 報告	議会報告	
	意見交換	1. 議会報告会及び議会について (1)市民と語る会に出た意見への対応や詳細な説明をしてほしい。 (2)集約意見を市長要望にまとめた経緯を明らかにしてほしい。 (3)市長申入れ及び回答について市民へのフィードバックと要望実現の優先順位の基準を明らかにしてほしい。 (4)市議会議員の定数を減らさないでほしい。(多様な意見を反映するために必要) (5)議会だよりに地域の事を掲載してほしい。 (6)パブリックコメントなど求める事業について、市民は知らないことが有る。周知の徹底をしてほしい。 (7)地域医療対策特別委員会で、条例を作り地域医療を支援するとの事であったがどうなっているのか。 (8)津波警報発令に関して、議会・議員はどのような対応をしたのか。 (9)地区行事との日程調整をしてほしい。(クリーンさくらえと重なり、作業を抜けて参加) 2. 風力発電について (1)音・周波数・バードストライク死骸など設置企業に対し市として対策を求めているいただきたい。(浅利地区) (2)風力発電による市・地元へのメリットと契約年数の期限の説明と今後の扱いについて説明を求めたい。(浅利地区) 3. 市役所窓口の対応について (1)相談時(高齢者など)に形式的の説明でなく、相談事に寄り添った丁寧な説明をしていただきたい。 (2)DX 推進による取り扱いで、高齢者が困らない丁寧な対策をお願いしたい。 4. 地域医療問題について (1)済生会への助成金は医療の充実に必要だが、定住対策含め救急対応や安心して分娩できる(小児科医の常勤含め)医療体制を整えていただきたい。 ◎済生会より浜田医療センター(川越地区は邑智病院)を利用する。 (2)済生会病院受診後の帰宅困難の事態への対応について ①夜間急病で搬送された際、帰宅困難(桜江地区)時の対応できる相

		談窓口の設置をしていただきたい。 ②済生会から出雲の医大や県中に紹介されるが、車ないと日帰りできない。宿泊費の補助をしていただきたい。 (3)済生会の助成が赤字補填になっているのか疑問。総合病院という体をなしていない。邑智病院は黒字決算、加藤病院は新築という中で、江津市の医療対策の取組に問題はないのか、病院経営の差は何か理由を明確にしてほしい。 (4)開業医（高齢化による休業）も少なくなり、済生会病院の医師（診療科の減少）も少なくなった。開業医の後継者、医師確保対策に力を入れていただきたい。 ◎森医院がなくなり、急激に人口減少が進んでいる。 ◎応儀病院がなくなると困る。 ◎能美医院の休業で不安。 (5)診察後（高齢者が）の湿布など余分なものもあるが、処方薬など医療費削減の取り組みが必要。 (6)予防医療の啓発と推進を ※百歳体操など要介護にならに予防対策の充実をするとともに、男性が参加できるような工夫をしていただきたい。 5. 治水・防災対策について (1)災害時の対応について ①能登半島地震を受けて、避難所の開錠の取り決めや責任体制を明確にされたい。（嘉久志地区） ◎コミセンで高角小体育館のカギは預かっているが、事学校務所のカギはないために電気は使えない。（嘉久志地区） ◎あおぞら学園のカギは保管しているが、旧保健センター時代の薬品が残っており、危険である。（嘉久志地区） ②屋外スピーカ（聞こえないところが多い）の増設と防災無線の全戸配備の推進（助成を）を。 ③江の川や八戸川の災害対応が早いが、小河川の農地災害対応・復旧が遅い。合併による弊害ではないか。（長谷地区） (2)治水対策について ①築堤されても、内水が玄関先までは来ると言われているが、何らかの対策をしていただきたい。（和田地区） ②計画高水位より高台の住宅の安全対策も検討して頂きたい。 ③築堤が完成までに盛土による上流域での水害被害が懸念されるが対策が必要ではないか。 ④田津谷川の工事の進捗状況の情報提供をしていただきたい。 ⑤治水対策の進捗状況が年１回、用紙１枚では情報が少ない。又予算付けの説明も不透明であり、しっかり予算を付けて進めていただきたい。
--	--	--

6. 道路整備について

(1) 道路舗装の補修、路側帯や歩道、堤防法面の草刈り(住民負担の軽減)、側溝破損や堆積、倒木倒竹の放置、影切りなど、早急に対応し安全な道路通行を確保して頂きたい。(261号線、県道、市道は市街地から離れるほど負担が大きい)

①下大貫から谷住郷までの路面の補修。

②新中山線が出来便利だが、皆井田江津線の路肩崩落や落石の対策は方塊ブロックやコーン立てるだけでなく対策をしていたきたい。

③渡地区から鹿賀地区県道の落石対応を早急に。

④唐人峠から風の国(森下建設資材置き場)までの道路整備及び側溝補修について。

⑤川越地区、堤防法面の草刈りは住民の負担軽減を。

⑥緊急車両が困らない道路整備をしていただきたい。

(2)261 落石対応について

①情報伝達(う回路対応、田津橋の行き違い対策)が遅く、高齢者にも分かりやすい周知徹底をして欲しい。

②う回路の左岸側道路で、行き違いセンサー信号や見通しの悪い箇所へのカーブミラー設置をしていただきたい。

③う回路左岸側は狭あい道路のため落石、倒木、路側帯の草刈りを定期的に行ってほしい。

④谷住郷・川本間は過去10年間で3回の落石や土砂崩れが発生、崖地点検や落石対策を徹底していただきたい。

⑤261号線の拡幅(追い越しが出来る対策)をしていただきたい。

(3)市道の要望について(川越地区)

以前要望した際に、三江線が走っているために困難との回答であったが、廃線となっており再考していただきたい。

7. 農業問題について

(1)農業を守る(耕作放棄地にさせない)政策と環境整備や鳥獣害(サル、猪、ヌートリアなど)対策の支援を充実していただきたい。

(2)ライスセンターの具体的な情報、説明をしていただきたい。

(3)農業経営は赤字。後継者や担い手づくりも、儲かる農業としての政策を示さないと難しい。具体的な対策を示していただきたい。

※10年もすると担い手はいない。

(4)相続登記が義務化されたが、耕作放棄地の持ち主が不明だったり境界も分からない中で、本当に進むのか疑問、対策はあるのか。

(5)相続手続きで、松江にまで行かなくても行政手続きを出来るようにならないのか。(浜田法務局で分からないと言われることあり)

(6)家族農業への支援をしていただきたい。

※米価が安いため後継者が減っている。支援策が必要。

(7)全国に発信できる農産物の開拓に向けたモデル事業は無いのか。

8. 三江線廃線後の対応について

- (1) 廃線跡地の線路は荒れ放題である、線路跡地管理と草刈りを JR に求めている。
- (2) 廃線後の鉄道用地の活用と整備について検討をしていただきたい。
- (3) 廃線により駅舎トイレ撤去されたため、川越コミセンに外トイレを設置していただきたい。

9. 地域交通と買い物支援について

(1) 地域交通について

- ① スクールバス混載の改善をしていただきたい。(長谷地区)
 - ◎ 応儀病院への通院が不便。
 - ◎ バス停までの距離があり、改善してほしい。
 - ◎ 日中のバスの増便の検討。
- ② 相乗りタクシーの利便性の向上をしていただきたい。(長谷地区)
 - ◎ 行きは良いが帰りは 4 時間待ちとなり結局はタクシーとなり、利便性が悪い。
 - ◎ 高齢者の移動を促すために、ドアツードアーによる利便性の向上を。(長谷地区)
- ③ 若者の雇用と定住にむけ、運転手不足(タクシーなど)を解消する環境整備や賃金向上の施策の検討を。
- ④ タクシー利用助成金は、複数人(4 人とか)が共同で利用や定額運行(江津・跡市 4000 円)の半額助成など検討していただきたい。
(※浜タクの早朝便がないのが不便。)
- ⑤ 居住地による上限購入額の緩和措置を検討していただきたい。
- ⑥ 地域行事の際の移動手段は、地域のボランティアによるが、何らかの支援は出来ないか。

(2) 買い物支援について

- ① 買い物バスの取組みへの支援策(車をコミセンに配備、運転手の確保支援、費用支援など)をしていただきたい。(小さな拠点づくりの取組みから)
- ② 移動販売車の利便性(回数を増やす)と継続できる支援を。

(3) 有福線代替交通について

- ① 江津周布線が都野津駅に乗り入れて乗り換えが楽になった。
- ② JR 乗り換えについて、都野津駅(AM7 時 30 分ごろ、PM18 時ごろ到着便)の到着便に合わせる時刻設定にできないか。
- ③ 生活バスでは、乗降位置高い。高齢者・障がい者の乗降時の補助対策を
- ④ 都野津の国沢病院や岡田クリニックを経緯する便の検討と、伊沢線の利用減に伴い支線はデマンド型に出来ないか。
- ⑤ 生活バス停まで距離がある。地域内交通も含めドアツードアーの

	検討をしてほしい。 ⑥江津有福代替バスと伊沢線の生活バス見た目が同じ。見分けやすい表示にできないか。 ⑦生活バスの急ブレーキ、急ハンドルをしない安全運転をお願いしたい。(通園の幼児や高齢者が利用している) ⑧生活バスの利用状況や住民意見を聞く機会を設けてほしい。 10. 地域間格差と定住対策について (1)給食費、医療費の無償化など、子育て支援による若者の定住を。 (2)空き家バンクに登録しているが、利用がされない物件の改善点の把握と利用できる環境整備などの対策を。(川越地区) (3)浅利の県営住宅は空いているのに、江津駅周辺に建設する事はチグハグではないか。 (4)公共下水道進めているが、上水道未整備地区の解消をしていただきたい。 (5)子育て支援と共に、高齢化が進んでいる地域への手厚い支援策を進めていただきたい。 (6)他市に誇れる観光資源・魅力が乏しいがもっと江津市をアピールする発信力を工夫して頂きたい。 11. 風の国について (1)地域住民の利用がしにくくなっている。 ※風呂利用は 3 時まで、食事も宿泊客のみ。地域と一緒にできていたこともできなくなり、雇用も減少した。地域とかかわった運営にならないか。 12. 教育関係について (1)中学校の校区外通学による親の負担の増大と地域の衰退が心配される。何らかの対策が必要ではないか。 ※江東中の統廃合の心配。江津東小の複式学級になる心配など。 (2)高校統合による、江津高校の校舎、体育館などの扱いは。 (3)島根中央高校や矢上高校のような県外からの受け入れ努力しているが江津市の取り組みは。 13. 人口減少問題について (1)浅利工業団地があるが、浅利地域の人口が増えない。地域の関わりも弱い。地域との関わり、人口増につながる対策を進めていただきたい。 ※地域活動に参加する従業員に休暇制度など、優遇される仕組みを作っていただきたい。 (2)東部地区は、医療・交通・買い物・飲食と不便になっている。 (3)空き家問題も深刻。更地にすると固定資産税が高くなることの対策は出来ないのか。 (4)長谷(100 戸、人口約 200 人)は限界集落(八戸地域は 40 戸から
--	--

	20 戸に)だが、地域の再生、集落維持に向けた対策は。 (5)地域の草刈りなどボランティアも大変になっている。更に物価高騰で燃料、草刈り歯など負担も大きい助成を。 (6)人口減少による神楽の伝承も大変になっている。 (7)3 世代同居の世帯は税金を安くするなど、東京一極集中を解消する政策を実現していただきたい。 14. 合併 20 周年事業について (1)桜江が置き去りされている感じがする。合併前是对応が早く親身な対応で職員とも話しやすかった。今は遠く感じ支所に職員も少なく声が届きにくい感じがする。 (2)長谷全体が置き去りにされている。末端まで江津市民であると大事にしてほしい。 14. 図書館建設について 早期に建設をしていただきたい。 15. 野良猫対策について (1)避妊治療の半額助成を (2)猫の住める市営住宅を。 16. 川越地域コミュニティ交流センター周辺整備について (1)体育館・プールの解体計画はどのようになっているのか。 (2)倉庫の設置とトイレ設置やグランド整備を。 17. 民生委員について (1)なり手不足、仕事内容の線引き、報酬などの検討と民生委員という名称の検討が必要。 (2)担当地域の変更の検討 その他 (1)松川工業団地の企業誘致をさらに進めていただきたい。 (2)菰沢公園、波子駅リブランディングの取組の情報提供や市民にアピールして市民意見を取り入れることをしていただきたい。 (3)旧跡市小学校の利活用を、地域のみでなく市全体で考えていただきたい。 (4)墓や仏壇の管理など、盆・正月の帰省客が利用できる空き家活用の仕組みは出来ないか検討お願いしたい。
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和 6 年 6 月 24 日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長

森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和6年5月12日（日）10時00分～11時40分
開催場所		敬川地域コミュニティ交流センター
出席議員		責任者 河野正行 担 当 寺前克宏／坂田優美／植田圭介 参加者 森川佳英
参加市民数		8人
実施 内容 報 告	議会報告	司 会 河野正行 説 明 坂田優美・植田圭介・寺前克宏
	意見交換	【意見交換】 ・コミセンの労働環境を良くして欲しい。 ・DXの導入で本当に平等になるのか。 ・敬川コミセンは避難所になっているが、大丈夫か →道路が冠水すると避難できない方がいる。 →市営住宅の土地かりバースイトに新しく建築して欲しい。 ・なぜ保育所が民間になったのか。 ・コロナワクチンの後遺症で困っている。 ・西部統合小学校は適切な大きさと建設して欲しい。 ・2023の市民と語る会で提案したことのおかげで、町内のテニスコートの整備をしてもらえたので利用者が喜んでいる。 ・使った医療費の明細はいらない…医者と言われるがままに薬を飲むので、通院を減らす努力は出来ないから。事務経費の節約して下さい。 ・コロナ後遺症の対応について、どこに行けばよいかわからない。 ・高齢者の通院は遠くに住む家族が帰ってきて連れていくしかなかったが、往診をしてくれるのは助かる。 ・敬川コミセンは緞帳にしても個人の寄付に支えられている。市立なのにまちづくり協議会の町費で整備した。耐震工事が出来てないが考えを聞かせて欲しい。曖昧にされている。 ・リバーサイドは市の施設だが空き地のまま。宅地化公園にして欲しい。 ・14区市営住宅は何号棟に誰が住んでいるのかわからなくて困っている。6世帯×7棟のうち現在18世帯が入居しているが、廃墟化が酷い市が放置しているが最低限の整備をするべき。入居者を集約すると空き地もできるので活用できるのでは？ ・道路からは見えにくい桜祭りでウォーキングラリーをすると、敬川支流も高速道路の高架下までごみが来ている。 ・産業道路の南側にゴミが多い。 ・豚舎の匂いが酷すぎるが排水溝にふたをするなり改善して欲しい。 ・野犬については防犯カメラを設置してくれたが、猫については何も対策が無い。敬川には野良猫が多すぎて被害も出ている。

	・ 保育園を市営化して保育料を安くしてほしい。 ・ 要望をどの窓口に相談したらいいのかがわかりづらい。 ・ 市民センターでのチャリティーバザーは、収益よりも使用料の方が高い。 ・ 江津文化財団は集客が出来ていない。空いているときは有効利用として、練習場所に困っている人にホールを使わせてあげたら？ ・ 大卒の浜田と江津の２人が、本物の音楽に触れて欲しいと頑張っている。児童クラブに安く雇われていてお金に困っているなので、補助や支援を考えて。 ・
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和 6 年 6 月 24 日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和6年5月12日
開催場所		有福温泉コミュニティセンター
出席議員		山根、かじ、藤間、下谷、森川、植田よしお、多田
参加市民数		2
実施 内容 報告	議会報告	
	議会報告 に対する 質疑応答	・ライスセンターについて、後継者も少ないのに、そんな金額をかけてよいのか。 ・西部小学校について、早くつくってほしい。少子化で、子どもをつくってくれる女性が少ない。 ・航空写真について、農業委員会で使えるようにしてもらえば、現地に行く労力が軽減できる。 ・高野山の電源交付金を、家庭用のEV普及に使えるようにしては ・自動化運転について、勉強会を ・まちなみ環境整備について、方向性が見いだせるように ・有福の公衆浴場は限界。新泉源開発と観光時期に入湯客が混雑しないようなシステムを ※美又温泉の循環 ・買い物支援について、市でたらいまわしにされた。社協ではむり。参事の仕事では。 ・生活バスの利用が少ない ・江津市は消滅都市ではなくなったが、周辺部は危ない。 ・生活支援コーディネイターがよく入れ替わる
	意見交換	
	要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項		なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和6年5月13日13:30～15:00
開催場所		都野津地域コミュニティ交流センター
出席議員		石橋孝義 森川佳英 山根兼三郎 森元健二
参加市民数		8名
実施 内容 報告	議会報告	総務民生委員会・建設経済委員会・予算決算委員会報告
	議会報告 に対する 質疑応答	・ 済生会について医師看護師不足の課題があるが、かかりつけ医から済生会への紹介システムの構築をしてもよいのでは。 ・ 病院で呼ばれても聞こえないなど、耳が聞こえにくいひとへの対応があってもよいのでは。番号表示など。 ・ 道路の白線がきえているところが多い。 ・ 地域内の都市公園（西公園・北公園・赤羽公園）の立ち木やトイレの管理をしてほしい。特に西公園は利用者が多いにもかかわらず、トイレの管理が行き届いてない。 ・ 済生会について、利用者への対応をもう少し丁寧に、また利用者も職員への態度を良くした方がいい。 ・ 済生会について、内科医師の常駐を ・ 旧庁舎について、途中経過も含めて活用方針を市民に周知してほしい。 ・ 空き家について、空き家になる前からなりそうなところへの取り組み対応も必要では。 ・ 地域医療について、西部圏域で開業医の廃業が続いている。かかりつけ医を見つけるのが難しい。市外への通院への対応は。 ・ 議会だよりや広報誌で使っている言葉が難しい。市民と語る会のような機会があるとわからないところを聞くことができる。 ・ においの問題（日本製紙、敬川の養豚場）、騒音問題（都野津アンダー周辺、旧市役所ゴミ回収所周辺の鉄板）への対応を。 ・ DXを活用してちょっとした問題にすぐに対応・解決できることはよいこと。
	意見交換	
	要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし	

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		5 月 14 日(火)19:00～
開催場所		跡市地域コミュニティ交流センター
出席議員		3 班—森脇、植田好雄、渡辺、下谷 オブ参加 坂田、森川、多田
参加市民数		15 人
実施内容報告	議会報告	総務民生委員会 植田好雄 建設経済委員会 渡辺信明 予算決算委員会 下谷忠広
	意見交換	有福線の乗車状況 ●有料が 297 人、無料が 210 人。都野津駅までバスが入り、乗り換えができることでダイヤはよくなった。 ●現在の生活路線バスは、江津駅から特急に乗るというダイヤになっており、JR を利用して下り 7 時半に乗る人いるのでこれに合わせたかどうか。 ●夕方は 18 時ごろに着く上り、江津方面にいく JR.これから降りるお客さんが多いので合わせては。 ※生活バスについては、JR と連携しながら、地域の皆さん誰もが利便性の良い交通網が確立できるように検討していきたい。 ●タクシー券について、4 人ぐらい集めてタクシー券利用して乗ったら買い物弱者等に良いのではないか。 ●菰沢公園の取組について、情報が欲しいと言われていた。進めるにあたっては、アピールもしながら市民の意見を取り入れる、東京の方と、市の担当者（政策企画課）が関わるだけでなく市民の関心が持てるような取り組みにしてほしい。 ●旧跡市小学校について、地域では活用していきたいがあるが、プレゼンテーションしても市として受け入れられない状況にある。跡市が置き去りになっているのではないかという感じがある。町中（市街地など）だけを何とかしようとしている、周辺部も含め、全体的に考えていくべきではないか。 ●タクシー利用で定額制で走らせないのか。例えば跡市・江津 4 千円。半額市が助成しますとか。 跡市の人とか、距離に応じて設定すればどうか。 ●運転手の教育を、急ブレーキ急ハンドルは辞めんといけん。 自分の前走っていてイタチ死んでいて急ハンドル。止まって、避けることしてほしい。何が起きたかと思った。朝なので子供が乗っていた。安全運転に気を付けてほしい。 ●買い物支援については、跡市内の基幹道路所は、そうしたところに行けるが、基幹道路から距離（清見、伊沢など）のある所は、生活バ

スのバス停までも大変で、そこに行って次の跡市に出るという事が大変だ。バス停に行くまで含め、病院や買い物にスムーズに行ける、地域の中で出来る交通の在り方も問われており、市の側も考えていただきたい。

●医療関係では、済生会で診てもらい、対応できないから、出雲の医大や県中央病院にという事が言われるが、バス・JR を利用していくと日帰りは出来ない。朝バスで行って JR に乗る、帰りは JR で帰ってもバスはないと一泊になる。こうした事への支援も考えてほしいと言われた。この事は大切なことだと思う。出雲の病院にと言われた時に、日帰りできないとするなら泊の支援を検討を。

●医者数はそろっているが、診療科が十分でない。小児科がない産婦人科がない中で、子育てする人たちにとって選べる町になっていないのでは、そうした医者の確保することを市として本気で考えないといけない。子育て世代や高齢者の命と健康を守る、施策を進めてほしいという意見が出たのではないかと思います。

●人口減少、跡市周辺の人口減少が激しい。行事の際はボランティアの方に送迎してもらって参加してもらっている。

●タクシー助成金制について話し、100 歳体操に使うかなというものもありましたが、確かにそうだなと思ったが、社会福祉の対策もあれば良いなと感じた。

(再度具体的な中身確認必要)

●空き家対策にいて、墓とか仏壇、盆や正月に帰る方おられるが、その辺について難しいかなと言われた。その辺の仕組みづくりができればと言われた。

(どうした事が確認必要)

●地域活動について 参加される方が少ない。企業が参加に対する休暇制度をしては。企業に対して市が補助するという事は可能性のあるのかな。

●生活バスは、石見交通よりは JR との乗り継ぎも考慮され利便性は良くなった。運転手が荷物をもって来てサービスも良くなった。能美病院が休診し、岡田クリニック国沢病院に行けるルートの検討を。

●タクシーの半額補助について、跡市から済生会まで使うと直ぐになくなる。福祉券(年 12 枚)もあるが、年間の必要枚数が足りない。浜タク利用の場合、JR 利用し遠方に行きたい場合、早朝のタクシー利用ができない。

タクシー便の利用の検討も必要。

●伊沢線、有福千田線はデマンドですが、その中で生活バスの定期

	便化、利便性を上げたもの、支線からのデマンド化、タクシー利用とか仕分けして、高齢者の外出補助にしていきたい。（具体的にはどういうことか分からない？） ●高齢化率高くなり、人口も減っていく中で、跡市の町と江津市の市街地が同じ税金を払っていて、同じ補助が受けれない（具体的には何かな？何を指しているのかな？）のはひどい差別ではないか。地域・地域で高齢化が進んでいる町では、手厚い政策を地域ごとに考えるべきではないかという事です。 ●公共下水進んでいるが上水がない地区がある。上水を優先していくべきではないか。 ●生活バスが、伊沢線と有福線、見た目が一緒なので見分けやすいように表示を検討して頂きたい。
要望・意見等	(意見交換を含む)
その他 特記事項	なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和 6 年 5 月 1 5 日（水） 1 0 時 0 0 分～1 1 時 3 0 分
開催場所		松平地域コミュニティ交流センター
出席議員		責任者 河野正行 担 当 藤間義明／坂田優美／森元健二 参加者 植田好雄／森川佳英／多田伸治／坂手洋介／寺前克宏 事務局：壱岐局長／津森係長
参加市民数		9 人
実施 内 容 報 告	議会報告	司 会 河野正行 説 明 藤間義明・坂田優美・森元健二
	意見交換	【 意見交換 】 ・ 261 号線の円滑な運用をお願いしたい。 ・ 長良地区の集会所は、江津市で処分して欲しい。 ・ 長良地区の田や畑の管理はどうすればいいのか。 ・ 長良地区はモデルケースとなるので細かい配慮をして欲しい。 →国・県・市で横のつながりを持って対応して欲しい。 ・ 波積ダム、都治川等中間報告をキチンとして欲しい。 ・ 工業団地の企業のためにも、261 号線の整備を早急に行って欲しい。 ・ 261 号線等の計画状況がわかりにくい。 ・ 旧松平中学校の校舎が老朽化している。 →駐車場にして欲しい。 ・ 農業関係の補助金を上げて欲しい。 ・ 中山間地域の補助金は、人がいなくなっても続けて欲しい。 ・ 病院に通うのが大変なので、福祉バスを運行して欲しい。 ・ 鳥獣対策に力を入れて欲しい。 ・ 環境保全を行う団体を設立して欲しい。 ・ 老朽化が進んでいる。体育館に収容されている道具等を撤収して欲しい。 ・ コミセンに駐車場が無いので困る。 ・ 高齢化による人材不足。環境保全の担い手をどうするか考えないといけない。市内全域のメンバーで組織を作るのはどうか？ ・ 自ら人命を守ることを第一に案が得て欲しい。 上津井 ・ 昨年と同じことを要望したが、坂根橋を〇 t の大きなダンプが毎日通り穴が開いている。市道上津井線の修理をお願いしたい。要望してもだめなら陳情書を出せばよいのか？ 下河戸 ・ 法面の草刈りをするると裏山がずれる。パトロールは見逃すが何の為のパトロールか？

	・路上に倒れ掛かる木や枝の始末をして欲しい。 ・消防小屋がずれたまま。 市村 ・樋門の所はポンプのおかげで内水が良くなった。 ・砂防堰堤を作ってほしいと要望を出しているが、どうなっているのか？ ・レベル3でも3人位しか避難しないが対策は？ ・市村は安全に避難できる道路が無く、逃げ場がない。上津井牧場へ上がる道をかさ上げして欲しい。 ・47軒住宅があるが8軒が空き家。壊すための費用がかかり過ぎるので何とかして欲しい。 ・耕作放棄地も市村だけが平地の為、金銭的な補助が無い。 ・道路の草刈り等も住民のほとんどが70代以上の為、高齢化が進み疲弊している。
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和6年5月17日13:00～15:00
開催場所	波子地域コミュニティ
出席議員	植田好雄 森川佳英 坂手洋介 植田圭介
参加市民数	6名
議会報告	総務民生委員会・建設経済委員会・予算決算委員会報告
意見交換	・共同墓地に向けての進入路の側溝の蓋を簡易なものでも良いので取り付けてほしい。（過去に怪我人も出ている。） - 道が狭いところがあるので注意喚起の看板を設置してほしい。 ・タクシー助成を早く開始してほしい。 ・地域の病院がなくなると不安。 ・済生会は経営をしっかりと地域医療を守ってほしい。 ・空き家対策 波子地域は空き家ニーズが他地域と比べ多いと感じている、空き家のマッチングはできた事例もある。 - 補助金があっても解体が困難 ・高校統合後の跡地利用は主体性を持って取り組んでほしい。 ・小学校について説明や跡地利用の方針をしっかりとしてほしい。 ・図書館など教育的予算をしっかりとつけてほしい。 ・人口減少対策として、仕事づくりなど積極的に取り組んでほしい。 ・地籍調査 山林なども早めにしてほしい
実施内容報告	
要望・意見等	（意見交換に含む）
その他特記事項	なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和6年5月18日10:00～12:00
開催場所		波積地域コミュニティ
出席議員		石橋孝義 森川佳英 坂手洋介 坂田優美
参加市民数		7名
実施内容報告	議会報告	総務民生委員会・建設経済委員会・予算決算委員会報告
	議会報告に対する質疑応答	・低所得者対策の充実 - 子供に対する支援より高齢者支援の充実を（手当など） ・市政20周年イベントよりも次に繋がる場所に使ってほしい ・予算増加に対して、民間に回せる事業は民間へ ・ライスセンター 改修全額負担はいかなものか、ほかへの補助も考えてほしい。 ・水道 水量が減ってきた→将来が不安 - 簡易水道になったが、モーターの電気代や老朽化が問題 ・道路の草刈りは補助が出て住民では難しく、市で対応してほしい ・道路パトロールの充実（路面もだが道に木が覆いかぶさっている） ・上津井から南へ抜ける道路の整備 ・災害で毎回同じところが被害を受けている ・空き家 移住に興味を持つ方もいるが、家財が残っており引っ越しまでには至らない - 移住して来た方の口コミに期待（発信力がある） ・農地を転用して宅地にしてはどうか ・耕作放棄地は税金で整備し、農業をしやすくするのはどうか ・林業についても考え直してほしい （根の浅い木では山が崩壊する） ・観光については仕掛けが必要 ・独居が多いので不安、助け合いをしてきたが自分たちも高齢で難しい ・リブランディング事業の説明をもっとしてほしい ・世代間交流が少なく次世代への引き継ぎが課題 ・まずは関係人口・交流人口を増やす取り組みから - SNSの発信に期待はあるが怖さもある ・進学で出た子どもたちが帰ってきてくれるまちにしたい ・高校統合について進捗状況や方向性を早くしらせてほしい （子どもの将来に関わることなので） ・独身の方が多いと感じる、結婚したくなるようなまちづくりも必要
	意見交換	
	要望・意見等	(意見交換に含む)

その他 特記事項	なし
-------------	----

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		5月18日(日)13:30～
開催場所		嘉久志地域コミュニティ交流センター
出席議員		3班 渡辺 森脇 植田 下谷 オブ参加 寺前 植田圭介 坂田 石橋
参加市民数		4人
実施内容報告	議会報告	総務民生委員会 森脇悦朗 建設経済委員会 下谷忠広 予算決算委員会 植田好雄
	意見交換	●津波注意報出たが、こういった対応とったか（議員は） ●嘉久志は30人位避難してきたが、市の対応は ●屋外スピーカー48%が聞こえないとのアンケート結果。全体に聞こえるような設置を。 ●防災無線は、普及してない。 ●避難所のカギの管理と避難時開設時の取り扱いのマニュアル化について 避難所のカギについて 嘉久志の施設の方集めて話、災害時の避難の対応で鍵をここに（コミセン）預かっている。いざという時にはここで開けます、担当の地域の自治会長に開けてもらおうと、避難する時にはここから鍵を持って行って開けてもらう。今回も高角小に5台いたので、開けましようかというのと良いというので、簡易便所渡して、やれん時にはここ（コミセン）に来てくれと言って帰った。市はいまだに鍵の事解決していない。 体育館は鍵はあるが、電気は事務所が管理のため点かない問題がある。 保健センター（あおぞら学園）も、鍵は開くが保険センター頃の薬品があり部屋は何かあれば責任になり、使えない。安心して暮らせるようにしてほしい。 ●済生会について、議員で勉強会するようなこと、会を立ち上げるという事はどうなっているのか。 ●高校の統合問題。 ・江津高校の校舎や体育館の使い道は ・川本や矢上にしても県外からの受け入れ努力しているが江津市はどうか ・寮という名称にせんでも良いので、何か魅力を ●能登半島地震の調査をした。三世帯同居はほとんどない。1人2人というのがほとんどで、自助ではどうにもならない共助とするしかない。 年寄りばかり、自助ではどうにもならん、共助になる。民生委員やっ

		てきたが、隣の人と昔のように、塩貸せ、味噌貸せという時代でない。孤独死もありますよね。 ●津波 縦方向に避難。車で避難。車は渋滞する。地域ではどうにもならない、道路事情は我々ではどうにもならん。
要望・意見等	(意見交換に含む)	
その他 特記事項	なし	

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		5月19日(日)9:00～
開催場所		川越地域コミュニティ交流センター
出席議員		3班 渡辺 森脇 植田 下谷 オブ参加 森川
参加市民数		19人
実施内容報告	議会報告	総務民生委員会 森脇悦朗 建設経済委員会 下谷忠広 予算決算委員会 植田好雄
	意見交換	●道路の路面はひどい。下大貫から谷住郷に抜ける橋5つあるが、車が傷む。 ●5月13日、261の崩落で、旧道を通る。県土事務所きて説明、2・3日たって説明、市役所の連絡含め25日に確定までの情報の伝わり方が遅い。 ●崩落事故で止まった。旧道利用になるが、短期間であるが道路際の藪刈をして頂きたい。先般も接触事故があったようだ。 ●治水対策、和田地区16日説明会有った。 大きな事業、立派な堤防出来ても内水が、門先まで来るという事なら、考えなければいけない。門先まで水が来れば生活道路（261号線）も浸かる。逃げる手段がない。堤防つくるから良いではないか。（市でも同じような事を言われた）内水で門先まで来る、ともすれば床下まで来る状況考えれば、長年水害に見舞われたものの気持ちを考えてほしい。 ●農地の荒廃と有害鳥獣問題など環境整備を進めていただきたい。 ●若い人の定住を、給食医費の無償化進んでない。若い人が住んでみたくなる政策を打ってほしい。 ●堤防が谷を防ぐために、家を治水対策にかけていただけないかというが、ハイウォーター（計画高數位—河川の氾濫が起こらない程度の事）になるのでダメだと言われた。がけ地近接等危険住宅移転事業の制度がある。崖地にあたるからそれで検討してくれと言われたが、2～3千万円借りないと受けれない。そんな制度は誰も使わない。借りても払えない。計画ではハイウォーターになるから浸からないというが、こうした使えない制度を議会も取り上げてやっていただきたい。家が浸からないので良いだろうという事。過去に崖崩れで家もつぶれたり車も被害にあったことある。 そんなところに若い人が暮らすかは難しい。そこの対策をしてほしい。 ●盛土に水が堰き止められ上流に被害が及ぶことが懸念される。検討が必要ではないか。

●地域医療について

急病で加藤病院に行ったが、そこから医療センターに行けとなり、その後、夜に帰る便がない。

※たまたま親戚の方おられ帰れたが、救急で行った、相談する人もないし心配。

●買い物対策について

移動販売、桜江でやっていたが今はどうなっているか。

●261 崩落について

情報、う回路の状況が分からなかった。速やかな情報を。左岸の道が狭い、信号など対策を、パトロールしているが、落石、倒木の速やかな対策を。

●鳥獣害対策について

サルが多い。対策に苦慮している。

●災害対策について

田津谷川の工事が止まっているが、状況はどうなっているのか。

●子育て政策の充実を。

●有害鳥獣について

サルが多い、畑被害だけでなく、家屋の屋根から電線伝って、動くので対策を。

●261 崩落について

大貫橋通行規制が、最近警備員配置されたが、周知対策が遅い。う回路が、草木が生えて狭く行き違いも大変。昨日ぐらい綺麗になっているが、日頃から点検をして対応しておくべきではないか。261 が 1 本では、緊急時、病院や買い物にもいけない事態になる。生活が止まる。生活道の日頃の点検と、何かあった場合に対応できる道路整備（拡幅や行き違出来るスペース確保、行き違い用信号など）を。

以前もそうした要望していたが、三江線があるときは三江線あるので難しいと断られている。廃止になって何年たつのか。

●261 号、谷住郷から川平に行く方面で、待避所がない。朝夕通勤時間帯に込み合う、遅い車がいって追い越しも出来ない。待避所の整備を。

●三江線の廃止に伴う苦情

荒れ放題、草刈りは地域住民している。JR の廃線後の活用と整備考えてほしい。

●治水対策

進捗状況など年 1 回で紙切れ 1 枚では情報は少なすぎるし状況が良く分からない、説明会でも予算付けが非常に不透明な説明で、しっかり予算をつけて進めてほしい。

●空き家対策

空き家バンク登録して不動産屋に対応しているが、川越の生活環境整えないといくら活用できる空き家があっても、住むことはないのでは

	は。ローソンからこっちは自動販売機もない、町中もない、水害の影響で自販機設置もないが、お店も、病院もない中で、生活環境の向上が必要。 ●図書館 いつになったら作るのか。早期建設を ●治水対策について 地域が寂れる、鉄道もなくなり、バスも便が悪い、治水対策をしっかりともらい日々の生活不安をなくすのが一番の課題です。 16 日の堤防説明会。47 年債がの時にしなければならなかった事が今に妻で来ていることが一番の問題ではあるが、動き出して、堤防しましょうと輪中提、防集とある中で、堤防を選択されたと思いますが、当初は 5・6 年で出来るという説明が今は 15・6 年はかかる、何かあれば 20 年と言われ、当初がそんなことなら自分たちの答えも変わっていた。 個人的な話で、堤防出来て、かかるところとギリギリかからないところがある、裏は崖地、堤防出来て浸かるまではいかないが、崖地対策の補助金と言われるが、経済的に使えないという問題提起もありました。治水対策に住民のそれぞれの思いがある。不安の解消・解決に対する制度の問題をどうするかは課題。 堤防が完成するまでは不安(豪雨による浸水)がある。それまでにどうするのかも求められている。 ●農業政策について 耕作放棄地にさせない、農地を守っていく政策もキチンと進めていただきたい。そして若者の定住を図る、 ●子育ての充実について 給食費の無償化や医療費の無償化だとかしっかり取り組みを。 ●三江線の廃線後の対応について 線路用地等の草刈り JR にしっかり要望してほしい。又、鉄道用地は市としてどうするのか。 ●体育館とプール解体、倉庫とトイレ設置。グラウンドの整備。 ●買い物支援 移動販売きているが、頻度を上げてほしい。 週 1 回市内への買い物バスについて、小さな拠点でやっているようなものできないか コミュニティセンターに、車 1 台用意してもらい、病院に行ったり買い物行ったりできないか。 ●医療問題について 小児科がないのは、若もの定住とはちぐはぐ。 ●落石はいたるところにある。早急な対策を。
要望・意見等	(意見交換に含む)

その他 特記事項	なし
-------------	----

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和 6 年 5 月 1 9 日（日） 1 0 時 0 0 分～1 1 時 4 0 分
開催場所		黒松地域コミュニティ交流センター
出席議員		責任者 河野正行 担 当 藤間義明／坂田優美／植田圭介
参加市民数		1 2 人
実施 内 容 報 告	議会報告	司 会 河野正行 説 明 藤間義明・坂田優美・植田圭介
	意見交換	【 意見交換 】 ・ 医 ・ 食 ・ 環境考えて!! 黒松が大変なのを知ってほしい!! 医…地域医療 ・ 小児科が無いので何とかして欲しい。小児科なくして若者定住はあり得ない。 ・ 都治の花田医院に通う方が多いので、地域ごとに医療日を決めてバスを出したらどうか。 食…買い物弱者 ・ 駅がある、バスが通るで対応が無いが、駅は高い所にありバス停は遠い。市民生活バスを走らせてほしい。 ・ 空き店舗につき 2 回移動販売が来るが、買い物に困る。道の駅は高い。 環境…ごみ ・ 高齢者には危険が伴うので、雑木の伐採を地区に頼らず行政でやってほしい。 ・ 川が 3 本あるが管轄が違うので、県と市が連携して欲しい。 ・ 強風で年に何度も川にごみが遡上する。業者に頼むと経費が掛かるが、住民を頼りにされても困る。 ・ 海洋ごみの夏場の匂いと冬場のごみが川を閉鎖する。 ・ 川がごみであふれると川をふさいで水が抜けなくなり、越水する。 ・ 海から川へ遡上するゴミの対策を考えて欲しい。 空き家対策 ・ 持ち主が分からない危険空き家があり、強風時が心配。ガラスや陶板が散らばっている。 ・ 総務課に通報したが写真を撮りに来ただけ。 ・ 県大生に空き家を整備し貸したらどうか。 ・ 水回りの改修の補助金をアップして欲しい。 ・ 市の計画では東部がリゾート改革じゃなかったのか？海水浴場とし

		ての整備は？菰沢池とプラスして海岸もして欲しい。 ・見知らぬ人がトイレを貸してとやってくるので怖い。 ・聖地巡礼（赤瓦）と検索すると黒松が出てくる。もう少し考えて欲しい。
要望・意見等		（意見交換に含む）
その他 特記事項		なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		5/19
開催場所		都治コミセン
出席議員		寺前、多田、山根、石橋
参加市民数		12 人
実施内容報告	議会報告	
	議会報告 に対する 質疑応答	済生会の赤字 済生会を誘致して 70 年、当時は金的と言われた 医療救急体制に不安 都治には花田医院がある 学校運営について、分校か統合が必要 東小と江東中では部活ができない。 給食費を無償化
	意見交換	海岸線保全について、水尻川、海岸浸食、浅利から黒松、おばま、 おおもとから 100m 砂浜に植林が手入れされていない。松くい虫、風 よけ、手入れされていない。 水道が高い 市内の道路網の検討。渡津から浅利高規格道路と一般道とのリンク、 安全性 歩道の草刈り、美観 通学路の白線が消えている 街路灯 道の駅の存続 大雨の時の都治川のバックウォーター 全員が一般質問していない 市長のキラリが見えない (市民と語る会)説明表現がむずかしい (予算)金額の根拠がわからない。数字が次々でもわからない。 議員はできるだけ聞くだけにして、市民に話させては、 人口減少に伴う市の対策を明確にしてもらいたい (意見交換に含む)

その他 特記事項	なし
-------------	----

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		5/19 日曜日
開催場所		二宮コミセン
出席議員		坂手、森川、下谷、寺前、多田、藤間、山根、坂田、植田くん
参加市民数		8 人
実施 内 容 報 告	議会報告	
	議会報告 に対する 質疑応答	医師が偏在している。法律で何年居なさいとつくったら。 地域を守る医療制度。桜江町は心配。市内の地域格差 泌尿器科が 2 日しかいない、予約取るのが大へん 江津専住の医師。若い医師が来ない 紹介状が言いづらい。初診料 高齢者の脳ドッグがなくなった、命をとりとめた人がいる 医者はパソコンばかり見ている、問診など、安心できる 産業道路の橋がせまい 青稜中に通学する歩道を拡張してほしい 農業に元気がない。食料自給率を高めるために農民を大切にする
	意見交換	261 号線を改良しないのか、トンネル。三江線廃止時に条件闘争 職員はよく見ていない 川波の悪臭 子供のことを第一に 放課後児童クラブの壁がシミだらけ 有福線バスのステップ、停留所に椅子 石見空港までの高速道を早く。無料に 水尻川が堆積している 生活交通バスがコミセンに入るように 議員が要望を把握してない 日曜日なので、午前か夕方が良いと思う
	要望・意見等	(意見交換に含む)
	その他 特記事項	なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		5 月 20 日(日)18:30～
開催場所		長谷地域コミュニティ交流センター
出席議員		3 班 渡辺 森脇 植田 下谷 オブ参加 植田圭介 森川
参加市民数		11 人
実施内容報告	議会報告	総務民生委員会 森脇悦朗 建設経済委員会 下谷忠広 予算決算委員会 植田好雄
	意見交換	●交通問題について 応儀病院行くのに、バス停まで距離があり、負担。日中に便が欲しい。 ●相乗りタクシーは一定数の利用有るが、帰るのに 4 時間待たないといけない、結局は帰りはタクシーで帰る事になり、利便性が悪い。 ●移動販売について 利便性の向上を。 ●風に国について、 風呂利用 3 時まで、食事も宿泊者のみで利用ができなくなった。地域と一緒にできたことも出来ない。雇用もなくなっている。外食できる施設で利用していたが出来なくなった。 ●道路関係について 山中線できて便利になったが、皆井田江津線が崩れたところそのまま。 市道も取り付けで危険なところもあり、側溝の壊れているところ、市に言っているが直してもらえない。 ●農地や河川の災害について 江の川や八戸川水系は対応してるが、他の河川や農地災害は、してない部分もあり、連絡遅くなると対象外という事もある。 ●民生委員について なり手不足で、80 歳でしている。仕事は何でも頼まれるが、仕事の線引きや報酬の検討も必要ではないか。又、民生委員という名称も検討しては。 ●人口減少問題について 若い人がいなく、町がなくなる限界集落になる。不便な環境の改善が必要でそのためには交通手段の確保を。 ●買い物支援について 17 日に社協のバスで 1 日ほど買い物支援を運行し、非常に良かった。今後続けたいが、無償だったが有料ならどうかというものもあるが、地域のコミュニティを創っていくためにも必要なことで、だれが運転するのかとか、いろんな問題も出てくるが支援も必要になっている。 ●タクシー利用について 充実して利用できるようにしないといけない。ドアツードアーの利便性が高齢化の中で求められている。

●合併 20 周年行事について

桜江というかこの辺は置き去りにされているのではないか。桜江町の時は対応早く、親身になって、職員も多くいたので、話しやすかったが、今は遠くなって、支所にも職員少なく声が届けにくくなっている。

●道路整備について

- ・落石箇所にはコーン立っている、3 年前から、早急な対応を。
- ・道路の木の伐採も届いてない。
- ・救急車が新車が入った、大きくなったので、道路に入れるか、入ったが U ターンできるかと試験に走らせたという事があったそうです。命の問題もかわる事であり、道路の整備はきちんとする必要があると思った。

●耕作放棄地について

10 年すると、担い手いない。農政についてどのように考えるのか。市の調査は入ったが、10 年、20 年先の農業をどう守っていくのかわからない。今後農政の進め方は。

●登記も大変。登記の義務化されているが本当進むのか。大変な問題があるのでは。

●人口減少問題について

家の個数 100 戸人口約 200 人位で限界集落。皆さんが住んでいるところが不便でない状況にしない事には、外に出られるという事になるので何とか維持をしていく方法はないか実践をしたい。

●買い物支援について

17 日に買い物バス 12 名参加。10 人以上乗らないと社協のバスが出せない。1 時間でしたが、皆さん喜ばれた。無料で出来たが、有料になると「どうかな」「という所はある。

●最後に一人でいても生きていけるような環境の整備。最終的には交通手段の確保を。ドアツードアで、タクシー利用の充実を。

運転手も高齢化して不足している。若い人が出来るよう（運転手として働ける環境、賃金面）に。

●道路関係関係について

町道（今は市道では）整備をしてくれない。コーン立っているが、いまだに整備してない、水路の石も取ってない（3 年経っている）。

●長谷全体が置き去りに、末端まで江津市民であるという事を大事にしてほしい。

●昔は 8 件家があったが、今は住んでるのは 5 件。地域の草刈りも全員で男女関係なしにする。ボランティアでするので、燃料、草刈り歯もいるし、物価も上がるし、昔は燃料代とかあったと思うが、どうなのか。

道路の維持管理だけでも大変。

町道（今は市道）の時は金出していた、舗装の修復もしてくれない。道路掃除、草刈り、落ち葉対策、地域でやれることはやるが、行政も

	もう少し気にかけて、見てもらいたい。草刈りの賃金はどれぐらいか知らんが、市民のことも考えてほしい。 舗装でも、ズーっと日々がはいいたままになっている。町道の穴開いているところ、言えば直すが、見て歩けばわかると思うが。 昔は簡易舗装を、袋をもらってやっていたが、今はそんなこともできない。 ●立木の伐採 今の状況は、見ているだけでなく答えが欲しい。 言うて来てもらうより、自分たちでやったほうが早い。助成でもあれば良いが、ボランティアだけ、仕方ないけえやらざるを得ない。 ●農政関係 耕作放棄地について 年々田が荒れている。70代、10年、後は荒れる、あとの担い手がない。江尾では集積して営農でやるらしいが、5年先が7年先に延びたらしいが本気でやる気なのか。 今後どうするか調査はあったが、田んぼは手入れした管理しないと末代までやっていけないし金もかかる。支援あるが、米価が安い中でやっていけない。どういう風に農政を考えているのか。自分たちはやれる間はやっていきたいし、若い人がきて引き継ぐ、農業をやっていきたいという事にならんと、これ以上の発展はない。 外国の人でも良い。テレビで見るような移住をしているが、そんな綺麗事にはならん。 若い人が兼業でもやっていける環境づくりが行政で検討を。 ●家族農業に対する支援を。 ※歳になったら帰ってくる。地元で仕事して、次の代に引き継ぐ、今は一回出れば終わりにになっている。 ●全国に発信できる作物を、何かモデル事業が出来ないか。 ●耕作放棄地と登記の義務化問題について 誰の土地かもわからない。境もわからない。相続で浜田の法務局で分からず、松江に行きなさい。高齢になって松江まで出向いて大変な作業だ。行政手続きが身近で出来ない 相続が義務化になっているのだから。
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和6年5月21日13:30～15:30
開催場所		渡津地域コミュニティ
出席議員		石橋孝義 森川佳英 坂手洋介 森元健二
参加市民数		18名
実施内容報告	議会報告	総務民生委員会・建設経済委員会・予算決算委員会報告
	意見交換	・地域医療 訪問医療とドクターヘリの充実 病院のあり方自体を考えたらいいのでは (急性期と慢性期) 施設整備や医師・看護師確保などの予算配分をはっきり 医師が来てくれるような施策を 済生会に市民の声を届けて ・公共交通 地域内を回るバスの運行（小さい車で良いので） 法律的なこともあると思うのでうまく調整してほしい 土日・祝日のバスは運休しているので、生活バスが回ってきてほしい ・教育 この先の江津市のこと考えると学校の適正規模は100名くらいがよいのでは 小中の流れが一本（1校）なら個が伸びにくいのではないかと 講師が多くなると学校経営が大変になると思う 支援員の存在はありがたい 学力についてタブレット端末をうまく活用してほしい 将来の人材づくりを考えた教育を 部活動の地域移行はスクールバスの活用を考えては 2030にある国スポをうまく活用してはどうか ・環境 空き家や通学路の塀の補助金を増額してはどうか 塩田港付近の飛砂（少し対策してもらったが不十分） 一斉清掃が高齢化で大変になってきている 特に溝掃除などの支援策を ゴミ収集所のゴミ箱設置における支援制度の周知 長田付近の内水対策（ポンプ設置） ・防犯 街灯・防犯カメラの増設 ・地域コミュニティ 地域の担い手が課題だと感じる（自治会・婦人会など）

要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時	5/21
開催場所	郷田コミセン
出席議員	山根、多田、寺前、かじ
参加市民数	4人
実施内容報告	議会報告
	議会報告に対する質疑応答
	意見交換
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他特記事項	なし

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長

森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時		令和 6 年 5 月 11 日（金）10 時～12 時
開催場所		市山地域コミュニティ交流センター
出席議員		6 名
参加市民数		8 名
実施内容報告	議会報告	1 部・・・自己紹介（2 分）、委員会の概略（2 分）、総務文教（5 分）、建設厚生（4 分）、予算・決算特別委員会（6 分）の説明・・・計 20 分
	意見交換	50 分 （1）地域医療 ・若い人が住むためには医療が大切。今はダメだ✖。江津市で出産できないし、産後の医療も行くところが無い。 ・邑智病院では医師看護師の確保がうまくいっているのに、なんで江津はダメなんだ？ - 地域医療を何とかしないと。 - 地域医療の事が心配。 ・江津出身の医者知りたい （2）地域医療以外 ・人口減少が止まらないが対策は？桜江町は 2 2 0 0 人になってしまった。 ・生活バスがあるんだが、あっても不便。通院するのが不便。いろいろ不便。 ・会計年度職員の規定が変わり 1 5⇒2 0 日に勤務日数が変わったので、ますますなり手不足になった。 ・西部統合小学校がなかなか進まないが、津宮小と郷田小の子供達がかわいそう。 ・図書館の早期建設を!! ・地籍調査が遅すぎる浜田市の農業委員会の資料と比べたら一目瞭然。 ・市山は特に災害に弱い町なのに、少し工事をやっては止まっている感じ。少しでも早く工事を進めて欲しい。 ・工事の為街中の交通量が増えており、危険を感じる。 ・国スポへの対応が遅い、早く進めて欲しい。 ・国スポ 2030 はラグビーと水球だが、ラグビーは選抜大会で智翠館が準優勝している。中国電力が強いので社会人とタッグを組んで強化したらどうか。 ・ふるさと教育に力を入れて、将来子供達が帰って来たくなる様に官民一体となった対策を考えて欲しい。 ・美郷町ではカヌーが盛んだが、江津でも AI を使ったり、小さな拠点づくり事業を推進するなど魅力ある街づくりをして欲しい。
	要望・意見等	（意見交換に含む）

その他 特記事項	なし
-------------	----

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二



江津市議会報告会実施報告書

開催日時	5/22	
開催場所	谷住郷コミセン	
出席議員	寺前、多田、坂田、山根、植田、植田、下谷、わたなべ	
参加市民数	8人	
実施内容報告	議会報告	
	議会報告 に対する 質疑応答	救急医療 担当医がいけない事が多い。一人暮らしは心細い。 生活バスの利用度。空気を運んでいる。 子どもの医療費。邑南町は手厚い。 Iターン 魅力をつくる。高校卒業後の仕事 予算説明が分かりづらい。理解できない 視察は実験中より成功例を
実施内容報告	意見交換	田津橋が細い、迂回路がない。 防災はピンポイントの修繕しかない 「すぐやる課」 現地をみているか 砂防堰堤、トンネルの中まで堆積している、対応していない 集会所、川端の桜が根上り ガソリンが高い 水道が高い、つかわなくても年4万円
	要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし	

令和6年6月24日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長

森元 健二

